

FAIRLADY Z

フットワークもパワーアップも刺激増 RZ34アツプグレード 最新マニュアル

No.10

谷口信輝が斬る

RZ34チューンドカー
試乗インプレッション!

注目パーツ&アイテム
テスト&レビュー

よりグラマラスに!
精悍に! ワイルドに!

ルックスと
機能性を高める
エアロパーツ最新アルバム



Z33から
RZ34まで
完全網羅

掲載総数

1300点
over

チューニング&ドレスアップ
パーツカタログ

開発秘話

フェアレディZ NISMOの真実

装着事例がズラリ!

スポーツホイール
特選ギャラリー



HYPERS REV PICK UP ITEMS

注目アイテム情報

定番パーツから新製品まで、日本一のチューニングアイテム掲載数を誇るハイパーレブが選んだ注目のアイテムたちをご紹介するのがこのコーナー。スポーツシートからインテリアパーツまでオーナーならきっと気になるアイテムばかり。余すところなくチェックしてくれ!

BRIDE ZETA IV REIMS

☎ブリド 052-689-261 | <https://bride-jp.com>



SAMPLE RZ34 Version-S

車両協力：ガレージカ ☎0594-82-5026
<http://www.garage-chikara.com>

PHOTO：水川尚由
REPORT：渡辺大輔



話題のニューモデルをキャッチ!

**ZETA IV シリーズにプレミアムモデル誕生
シート交換でスポーツ度を大幅アップせよ!**

RZ34でスポーツ走行を楽しみたいなら、まずはシート選びにこだわりたいところ。なにしろ6MTが選択できるバージョンSのノーマルシートは先代モデルの34からのキャリーオーバーとなっており、旧態然としたホールド性などはスポーツ走行で大きく不満を感じずにはいられない。重量に関しても約20kgもあるため、ブリッド製のバケットシートへ交換することで軽量化にも大きく貢献できるのだ。

そんなRZ34に装着するシートとして、いま大注目なのがブリッドから新たにリリースされた「ジータIVレイムス」。このモデルは既存のジータIVをベースに、さらに上質なフィニッシュを加えたプレミアムモデルとなっており、RZ34の車格にもピッタリとマッチする。

皆さんもご存知のとおりベースとなっているジータシリーズはブリッドを代表するフルバケットシートの人気モデル。ストリートからサーキットまでモータースポーツシーンで磨かれた性能はこれまで数多くのドライバーを虜にしてきた。そんなジータの最新モデルとなるジータIVレイムスにジータIVレイムスは高級スウェード調生地をふんだんに使用し、背面までフルカバーしたものとなっている。

なのだ。

もちろん単純に生地を変更するのではなく、各部にカラーラインを取り入れることでデザインをリフレッシュ。このカラーもレッド、ブルー、ブラックの3色を用意することで、インテリアのイメージやドライバーの好みに応じたコーディネートが可能になっている。

また、デザイン性による満足感だけでなく見どころはその性能。シート単体重量は約7.8kgに抑えられ、シートレールを含めても純正シートから約5kgの軽量化が可能。ポジション面ではF0レールを使用することで最大40ミリ、FGレールを使用すれば最大80ミリのローポジション化を実現してくれる。ハンドルセンターのズレも±0に設定されるだけに、ベストなドライビングポジションを作り上げることができるとの。

そして、リクライニング機能が欲しいという人には「エディルプ172」もオススメだ。高いホールド性を備えつつリクライニング機能をプラスしたスポーツシートはプロテインレザー™やウルトラスウェード™、擦れに対する耐久性が高い新素材のピガプリモといった3種類の素材を組み合わせることで高級感を演出。こちらも多くのユーザーから絶大な支持を集めている。

シートの選択ひとつでドライビングフィールは大きく変わる。特にハイパフォーマンスな走り誇るRZ34なら、その効果は確実に体感できるのは間違いないのだ!



ジータⅢ時代にもスペシャルモデルとして用意され、スマッシュヒットを記録したレイムスシリーズの最新版。ベースとなったジータⅣは日本人の体型に合わせて設計された高剛性シェルを採用。またローマックスシステムを取り入れたことで、従来のジータⅢと比べて装着できる車種の幅も広がっている。レイムスとしては専用的高级スウェード調生地をふんだんに使い、アクセントラインにはPVCレザーを組み合わせてデザイン性を高めているのが特徴だ。



カラーラインのアクセントでインテリアを鮮やかに演出

BRIDE ジータⅣ レイムス

カラー：ブラック&ブラック、ブラック&レッド、ブラック&ブルー
 価格：14万3000円



一般的な車種ではシート固定のボルト穴はフロント側が1段高くなるのが標準的だが、RZ34の場合はフロア形状の関係から前後ともに同じ高さで固定するのがオススメだという。



スポーツシートとしての性能はホールド性だけでなく、レーシングハーネスへの対応も見どころ。最近主流になりつつある6点式にも対応するベルトホールも備わっているのだ。



アクセントとなるカラーラインはショルダー部分やセンター、サイドサポートを縁取るように配置される。通常ラインアップと比べて華やかな印象を与えるデザインとなっている。

カラーラインの導入だけでなく、シートバック側も高級スウェード調生地でフルカバーされるのはレイムスの特徴。

edirb 172

3D-CADによって新設計されたボーンフレームと、ジータⅣのバックシェルデザインをベースにしたモノコック構造を採用したボディシェルを組み合わせることで高い剛性を確保しているエディルブの16#および17#シリーズ。RZ34にはすべてのモデルが装着可能だが、グラントゥーリング派には乗降性とホールド性をバランスさせた快適性重視のオールマイティモデルであるエディルブ172はいかがだろうか。新素材のヴィーガンレザー「ビガプリモ」を新たに採用し、擦れに対する耐久性向上とデザインが洗練された。高級感溢れるスポーツシートとして大人気となっているモデルなのだ。

リクライニング機能と優れたホールド性を両立 グラントゥーリング派にオススメの逸品がコレ!



カラー：ブルーステッチ
 レッドステッチ
 グレーステッチ
 価格：31万3500円

